

デジタル資格認定証導入についてのご案内（JR 東日本関連工事）

2026年2月4日

一般社団法人 日本鉄道施設協会

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、東日本旅客鉄道株式会社では、2026年4月よりデジタル資格認定証を導入することとなりました。それに伴い、弊協会が現在交付しております東日本旅客鉄道株式会社の資格に関する資格認定証（プラスチックカード）は、2026年度以降原則として発行を行いませんので、ご案内申し上げます。

※特別に発行をご希望の場合は、交付申請書（別紙）をご提出していただくことで、有料（10,000円/枚・税抜き）にて発行いたします。

敬具

1. デジタル資格認定証

デジタル資格認定証とは、オンラインで電子端末（タブレット、スマートフォン等）上に、資格保有情報等を表示するシステムです。

これまでの資格認定証で表示されていた項目（証明写真、氏名、保有資格、資格の有効期限、裏書、LINGS ID等）に加えて、10条教育の受講状況、適性検査の有効期限、資格講習会や10条教育の申請状況（受講予定日）等の確認をすることができます。

2. デジタル資格認定証のメリット

- ① 資格保有情報以外のさまざまな情報を提供
- ② 資格等の情報が即時反映
- ③ 所属会社変更に伴う認定証の再発行不要※
- ④ カード紛失のリスクがなくなりセキュリティ向上
（※所属会社変更手続きはこれまで通り必要）



3. デジタル資格認定証の使用方法

- ① デジタル資格認定証サイト（URLは別途案内します）に電子端末（スマートフォン等）からアクセスしてください。専用のアプリ等のインストールは不要です。
- ② これまでのLINGS ID、パスワード（LINGS用）でデジタル資格認定証にログイン可能です。現行の資格認定証のQRコードからも2026年4月以降アクセス可能です。

4. デジタル資格認定証に関するお願い

LINGSへのメールアドレスの登録（認証）をお願いします。

- ・LINGS IDの代わりにメールアドレスでログイン可能となります。
- ・パスワードを忘れた場合に、パスワードの再設定が可能となります。

メールアドレスの登録（認証）はLINGSもしくはデジタル資格認定証ログイン時に案内されます。

5. その他注意事項

- ・定期メンテナンス、システム障害、ネットワーク未整備の場合はご利用できません。
- ・継続講習の場合申込み必要書類の1つに認定証写しがありますが、4月以降は必要ありません。
（別途、案内）

・有効期限内のある認定証をお持ちの方で社名変更する場合、旧会社の承認印がない場合は次の継続講習を受講し、継続講習合格をもって認定証の社名が変更となります。

デジタル資格認定証に関するFAQ

Q1 デジタル認定証を導入するメリットは何ですか。

A1 以下のとおりです。

- ① 資格保有情報以外のさまざまな情報を提供
- ② 資格等の情報が即時反映
- ③ 所属会社変更に伴う認定証の再発行不要*
- ④ カード紛失のリスクがなくなりセキュリティ向上

(※所属会社変更手続きはこれまで通り必要です)

Q2 これまでの資格認定証は2026年4月以降、使用できないのでしょうか。

A2 資格認定証の有効期限までの間、使用可能です。また4月以降、これまでの資格認定証に印刷されているQRコードからデジタル資格認定証にアクセスすることが可能です。引き続きご利用ください。

Q3 JR東日本以外の鉄道会社に対して、デジタル資格認定証は使用できますか。

A3 JR東日本以外の鉄道会社への提出用に、資格認定証の写しをPDF形式で出力することが可能です。またLINGSから複数名分同時に出力することも可能です(特権会社のみ)。

Q4 所属会社が変わった場合に、手続きは必要ですか。

A4 LINGSの所属会社情報を変更するため、申請手続きは必要です。

Q5 スマートフォンやタブレットを持っていないのですが、どのようにすればよいのでしょうか。

A5 LINGSや他の人の電子端末から確認が可能のため、必ずしもスマートフォンやタブレットを保有している必要はありません。なお、希望者に対して有償で従来の資格認定証を発行することも可能です。

Q6 デジタル認定証を使用する場合に、スマートフォンに専用のアプリをインストールする必要はありますか。

A6 専用のアプリのインストールは不要です。電子端末(スマートフォン等)からウェブサイトアクセスし、LINGS IDとパスワードを入力することでデジタル認定証を表示可能です。

Q7 スマートフォンを手放す・機種変更するときはどうすればよいですか。

A7 専用のアプリ等を必要とせずオンラインで表示するため、スマートフォンを変更しても使用可能です。

Q 8 資格認定証がなくなると LINGS ID がわかりません。

A 8 LINGS やデジタル認定証から名刺サイズの「LINGS ID カード」を pdf 形式で出力することが可能です。LINGS ID カードには LINGS ID、氏名、生年月日、証明写真、QR コード（デジタル認定証へのアクセス）が記載されています。資格保有状況の確認を求められた場合のため、LINGS ID カードをスマートフォンに保存もしくは印刷して携帯することを推奨します。また、これまでの資格認定証を保有している方は、そのまま廃棄せずに ID カードとして利用しても構いません。



Q 9 LINGS ID を忘れた場合はどうすればよいですか。

A 9 メールアドレスを認証済みの場合、LINGS ID の代わりにメールアドレスでもログインすることが可能です。 その場合、認証済みのメールアドレス宛に送付される確認コードの入力が必要となりますので、メールを確認できる環境で実施してください。メールアドレスが未認証（未登録）の場合は、各会社内の担当者にお問合せください。

Q10 デジタル認定証のログインパスワードがわかりません。

A10 LINGS のログインパスワードと同じです。LINGS のログインパスワードを知らない場合や忘れた場合は、以下のいずれかの方法をとってください。

- ・ ログイン場面からパスワードの再設定依頼を行う（LINGS ID とメールアドレスの事前認証が必要）
- ・ 各会社内の担当者にお問い合わせる

Q11 LINGS ID とログインパスワードの両方を忘れた場合はどうすればよいでしょうか。

A11 各会社内の担当者にお問合せください（LINGS ID を忘れないように、これまでの資格認定証を保管しておく、もしくは LINGS ID カードを携帯することを推奨します）。

Q12 デジタル認定証にうまくアクセスできない場合、どのようにすればよいでしょうか。

A12 デジタル認定証にアクセスできないケースとして、システムメンテナンスやインターネットの通信不良が考えられます。そのような場合は、時間をおいてから再度試してください。

- Q13 10条教育や資格講習会の際に、デジタル資格認定証の提示は必要でしょうか。
- A13 デジタル資格認定証の提示が基本となりますが、それによれない場合は①資格認定証の写し（過去1年以内に出力したもの）もしくは②LINGS IDカードと本人であることが確認できる公的な身分証明書（本人の顔写真がついているもの）の2点を提示してください。なお、有償で資格認定証を発行した場合は、これまでどおり資格認定証の提示で構いません。
- Q14 JR社員等から資格認定証の提示を求められた場合、どのようにすればよいでしょうか。
- A14 デジタル認定証を提示することが可能な場合はスマートフォンなどに表示して提示してください。またスマートフォンを携帯していない場合などに、JR社員等の電子端末で確認しても構いません（その場合、パスワードはご自身で入力してください）。
- Q15 これまで資格認定証を携帯していましたが、代わりにスマートフォンや資格認定証の写しの携帯が必要となりますか。
- A15 これまで「資格認定の手引き」に資格認定証の携帯を義務付けていましたが、デジタル認定証の導入に伴い、資格認定証の携帯義務を削除する予定です。そのため、スマートフォンや資格認定証の写しを携帯する必要はありません。ただし、資格保有状況などの確認を求められることがありますので、LINGS ID やパスワードは忘れないようにしてください（LINGS ID を忘れないように、これまでの資格認定証、もしくはLINGS IDカードを携帯することを推奨します）。
- Q16 デジタル資格認定証のスクリーンショット画像や現在持っている資格認定証の写真はLINGS IDカードの代わりになりますか。
- A16 LINGS IDカードの目的は、LINGS IDの確認ですので、スクリーンショットした画像でも構いません。
- Q17 一般用のLINGS IDと特権用のLINGS IDを両方持っているため、一般用のLINGS IDにメールアドレスを登録することができません。
- A17 これまで異なるLINGS IDに同じメールアドレスを登録することはできませんでしたが、デジタル認定証の導入に伴い、区分（一般用/特権用）が異なる場合にのみ、共通のメールアドレスを登録可能となります。ただし、これまで同様、複数の一般用LINGS ID（もしくは特権用LINGS ID）に同じメールアドレスを登録することはできません。
- Q18 これまでは資格講習会の受講後、資格認定証が届いてから、資格が必要な仕事に就いていましたが、今後はいつから資格が必要な仕事に就くことができますか。
- A18 デジタル資格認定証又はLINGS上で資格の取得を確認でき次第、その資格が必要な仕事に従事することができます。なお、資格講習会・学力検査の後、（合格基準に達している場合）鉄道施設協会での資格認定手続きを行い次第、デジタル資格認定証に即時反映されます。ただし認定手続きに通常5～10営業日程度（長期休暇前を除く）必要なため、ご了承ください。